

中施策評価書

作成日 令和元年 5月 27日

中施策事業名	市有財産管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	佐藤 浩一

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市の財産
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市有財産が効率的に管理されている また、不要になったものは、売却することで収入に充てられている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	管財調達係が管理する市有財産の総括、市有財産の処分、他の課に属しない市有財産の取得管理及び賃借契約、市有財産の保険、市有財産台帳及び財産の公表、土地取得特別会計、土地開発公社、土地開発基金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不要市有地の売却 件数	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	0	2				
単位	件						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			13,658千円	6,825千円	
人件費	a 事業費合計		7,813千円	6,825千円	8,636千円
	正規職員	人数	1人	0人	
		b 金額	5,845千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0.25人	0人	
		金額	255千円	0千円	
人件費合計		6,100千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			13,658千円	6,825千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			198円	99円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	前年度に応札がなく売却できなかった市有地について、引き続き売却事務を進め計画達成を実現した。その他にも買取希望があり、計2件売却した結果、目標以上の成果を達成した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	その他の売却可能な用地を選定し、HPや広報掲載、不動産業者への直接の物件紹介などにより広く買取希望者を募っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	売却以外の策として、関係条例等を改正を含めた利用形態等条件付きの貸付も検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 令和元年 8月 17日

中施策事業名	建築物営繕工事事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	佐藤 浩一

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市有公共施設
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	建築物の長寿命化の推進等持続可能な財政運営に寄与するため
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	庁舎等施設・設備の改修・整備

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
庁舎の改修・整備 計画作成	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	5	10	25	50	100
	実績値	0	5				
単位	%						
	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			0円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	やや改善が必要	△	B
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	今後の方針により、現時点の評価や指標と乖離が生じる。
-----------------------------	----------------------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公共施設を有する各課等の設計及び工事監理について、整理し現人員で対応可能な業務件数とする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	庁舎における今後の改修・整備計画の作成。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	昨年度は評価対象外	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	昨年度は評価対象外	

中施策評価書

作成日 令和元年 6月 26日

中施策事業名	庁舎維持管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	佐藤 浩一

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	来庁者及び職員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	営繕工事、機器類保守、清掃等の実施により適正な施設の維持管理が図られている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	庁舎等施設・設備の保守及び管理、庁舎等施設・設備の改修・整備計画、庁舎駐車場等の管理

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
建築基準法定期報告指摘事項の対応	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	10	20	30	40	50
	実績値	0	10				
単位	%						
公共施設の包括管理業務委託へ向けての準備	事業実施年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	目標値	0	5	50	100	0	0
	実績値	0	5				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 総事業費(a+b)		0千円	112,214千円	
人件費	a 事業費合計	0千円	112,214千円	138,612千円
	正規職員	人数	0人	0人
		b 金額	0千円	0千円
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		0千円	112,214千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	1,631円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	建築基準法定期報告に基づく指摘事項により判明した本館屋上防水工事を初め、防火扉及び防火シャッター改修工事等を実施して適正な施設管理に努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	建築基準法定期報告に基づく指摘事項処理順位付けや予定時期の検討、公共施設包括管理業務委託に向けての施設所管部署の委託事業の洗い出し、翌年度の窓口改善改修に向けた設計	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	外部リソース活用プランを用い、効率的な公共施設全体の包括管理の実施に向けてのサウンディングや公募仕様・実施要領作成など具体的な検討を行う。本館受変電・幹線設備の更新、建築基準法定期報告に基づく指摘事項の対応を順次行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	昨年度は評価対象外	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	昨年度は評価対象外	